



令和2年度 幼稚園評価の結果

1 主な指標の変化

- ① 今回の幼稚園評価をはじめ、家庭訪問、保育参観、運動発表会、生活発表会等、各種行事等が行われる度に簡単アンケートを実施してきた。その全てのアンケートに対して全保護者から回答を得ることができたことに御礼を申し上げたい。保護者の皆様の幼稚園に対する関心の高さと厚いご協力にまずは感謝です。
- ② 「子どもは幼稚園が好きか」という問いに対し、「良くあてはまる」「やや当てはまる」を含めると95%である。昨年度と同様の結果だった。本園のモットーでもある「笑顔と個性の花咲くみんなの楽園」をめざし、一人一人に温かく寄り添い、全員の笑顔が輝く幼稚園をさらに目指したい。
- ③ 「自分の思いを先生に話せる」の項目が昨年度94%から84%に下がってしまった。自分の思いを自分の言葉で表現する場面を今年度新たに増やしてきたが、少し残念な結果となった。引き続き、発達段階を考慮しつつ何でも話せる環境作りを家庭と連携を密にとりながら取り組んでいきたい。

2 幼稚園教育目標の具現化に向けた指標

① 『健康で明るい子』

登園後、広い園庭に元気よく飛び出す子供が育っている。年間を通してトラックのラインが引かれた園庭を走る姿が目立った。また、月初めの一週間を「あいさつ運動」として、園をあげて取り組んできた。登園した園児から、虹門に立ち、元気な声で友だちを迎える姿が定着し、声を出すことが苦手な子も仲間と一緒にいる事で勇気を出して、あいさつをすることができた。

② 『きまりを守る子』

初めての集団生活を経験する中で、「幼稚園生活の中で安全な遊び方ができることや合図を守る」を重視してきた結果、怪我や大きな事故なく過ごすことができた。また、避難訓練等の安全指導は、着実に毎月実施し、ルールや決まりを守ることの大切さを繰り返し指導し、保護者評価において全保護者から100%の支持を得た。

③ 『仲良く遊べる子』

ルールのある戸外遊びやごっこ遊びを充実させる環境構成に工夫を盛り込んだことで、友だちと協力してグループ遊びをする姿が多く見られるようになった。その結果「子どもは好きな友だちがいる」は、昨年同様を含むと100%である。

3 次年度へ向けての展望

「子どもは自分の思っていることを先生や友だちに話せる」という項目が今年度も昨年度同様数値が低い。表現力育成のためのステップを考え、交流活動を増やすなど育成場面を工夫していきたい。また、来年度は保護者評価を年2回実施し、PDCAのサイクルを活用し年度内に改善していきたい。

